

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座 准教授
氏名 Name	小森 淳子
専門分野 Academic Field	アフリカ言語学

平成 30 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	ニジェール・コンゴ語族における動詞構造の形態・統語論比較研究				
研究計画 (400 字~500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>ニジェール・コンゴ語族はサブサハラ最大の語族であるが、この語族を特徴づけるのは基礎語彙と名詞クラスの体系、そして動詞の形態とそれに関する動詞構造であると言われている。その中でも最も多様性に富む動詞構造に焦点をあてて、その類型的な特徴と普遍性を明らかにしようとする研究をすすめている。</p> <p>昨年度から「受動態」に注目して、それを表す動詞形態と統語的な特徴を類型的にとらえる研究をおこなっているが、今年度も引き続き、受動態の研究をおこなう。対象とする言語はバントゥ諸語、ヨルバ語、バンバラ語であるが、その中でも特に、バンバラ語の「受動態」に注目し、バンバラ語の動詞の類型について研究を深める。</p> <p>バンバラ語は形態的に孤立語タイプで、動詞の形態変化に乏しい。動詞の自他の交替も形態では表されず、同形で自動詞にも他動詞にも用いられるものが多い。英語などでは、同形の動詞による自他交替は、状態変化や位置変化を表すいわゆる「能格動詞」に限られるが、バンバラ語の場合は、動作主の意図的な行為を表す他動詞 (たとえば「殺す」や「殴る」など) も自動詞として用いることができる。このような動詞が自動詞として用いられる場合に、「受動文」のような意味が表されることになる。バンバラ語の自動詞に着目すると、「非対格動詞」のみが見られ、「非能格動詞」がみられない。このことは、バンバラ語の自動詞が受動の意味を表すことと関係があると考えられる。本年度は、この点について、理論的な点も含めて、さらに考察を深めていく。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	言語学	アフリカ 地域研究	外国語教育		
キーワード Keywords*2	アフリカ	バントゥ諸語	バンバラ語	受動文	形態・統語論